

意見・質問

水沢病院は、今年度末に累積欠損金が45億円になる見込み。これは1年間の市民税と同じ額になる。全国の公立病院が減っている中、来年6月までに改善の方向性を示すというような悠長なことではないのか。

【回答・梅田邦光総合水沢病院事業管理者】医師の当初予定数を大きく割り込み、収益確保がままならない状況です。平成5

岩手競馬について

年ごろから累積欠損金が増え、苦しい経営を強いられています。今、水沢病院に求められている医療はどういうものかを市民の皆さんに問いながら、公営企業アドバイザーの「病院機能の選択と集中を」という提言を踏まえて、市民が求める医療に込められるよう努力していきたいと思っています。

意見・質問

水沢病院の存廃は市民が決めること。説明会などを開き、病院の状態をありのままに開示して、続けるかどうか市民に問うべきではないか。

【回答・相原市長】市民が決めるのは当然のことです。しかし、これまで水沢病院が医療を提供してきた経過や歴史も踏まえ、責任のある案を作るのは市長です。市民の関心も高いことですので、情報を開示して、市民の声を背景に進めていきたいと思っています。

意見・質問

水沢競馬場単独でやったらどうかという新聞記事を見たのだが、それが可能なのか。また、盛岡競馬場の状況はどうなのか。

【回答・相原市長】昨年度末、1場開催にした場合の研究をしたときには、かえって追加の投資が必要になり、採算が合わないという結果でした。

現在の構造を一気に解消できないという状況の中では、ある程度の規模で運営しないと採算が取れないとみています。水沢競馬場単独で開催するにしても、もう少し投資をしないと全体の収支が釣り合わない試算が出ました。

仮に1場開催とした場合、30億を競馬組合に融資している県、奥州市、盛岡市の枠組みが揺らぐことがあれば、その後は運営を続けられなくなります。難しい状況にありますが、1場開催については改めて検討することになっています。

【回答・相原市長】構成団体からの融資で毎年銀行などに払っていた6億円の利子の支払いをなくし、身軽な形でスタートし、今年、ことし行ったコスト削減にさらに2億9000万円を追加した。来年もそのような可能性があるのでないか。

意見・質問

今回、ことし行ったコスト削減にさらに2億9000万円を追加した。来年もそのような可能性があるのでないか。

意見・質問

全国と比較して地元の売り上げが少ないと思うがどうとらえているか。

【回答・栗野金好競馬対策室長】11月5日時点で、発売金額は計画と比較してマイナス7・7%、前年度比較で87%となつています。全国には16の競馬主催者があり、全体では104%と伸びていますが、岩手は苦戦しています。南関東では前年比107%、1人当たりの売り上げが2万5900円ほどで、岩手競馬は、1人当たりの売り上げが1万3200円ほどになつています。

意見・質問

大型スーパーなどの冠レースを持つてくるよう営業努力が必要だ。外れ馬券で割引きになるとか、企業サイドにもメリットが見えるような形にしてはどうか。

【回答・相原市長】地元の農協やマスコミなどの冠レースを営業でお願いしたところですが、確かに大手の参加が少ないと感じます。現在、さまざま営業努力をしており、ご意見も参考にさらに力を入れていきます。

市政全般の課題について

意見・質問

合併協定項目の中で、合併後に調整するという項目がいくつあったが、市民に進行状況と結果を示してほしい。また、東北油化の悪臭や岩谷堂農林高校の統合の問題で市や県と話をすると、担当が違つたということで責任のなすり合いのようになる。市は行政の窓口として、市民の声を聞いて上申するようにすべきではないか。

【回答・相原市長】合併協定項目の進行状況については、地域協議会に示しながら、市民全体にも大事なポイントを示すようにしたいと考えています。

東北油化の悪臭問題などについては、責任のなすり合いなどあってはいけないことです。市は市民の声を受け止め、国、県に要請する立場にありますので、職員も頑張らなければならないと思います。

意見・質問

行政と地域の協働という面で、地域の自治組織がもっと活動できるように体制づくりを。



11月8日の胆沢会場(文化創造センター小ホール)

意見・質問

市役所本庁に職員が集中している。事務的なことであればいいが、総合支所の現場を持つている部署は、危機管理の面で対応できるのか。

【回答・相原市長】

現場が大事なものは、そのとおりです。現場を持つ部署の職員は、必要な場所に配置されていないと仕事にならないと思います。人員を確保し、危機管理も含めた対応ができるよう努力します。

意見・質問

税金の滞納が多いと思う。市は徴収員を配置して対応しているようだが、現在どのような状況か。

【回答・佐藤総務部長】総体的には国民健康保険税なども合わせて約17億円の滞納があります。滞納繰越分(滞納のまま次の年度に繰り越される状態のもの)が非常に多く、それをできるだけ集める努力をしています。対策としては、税の公平性を確保するため、財産の差し押さえなどを実施しています。県と市町村が共同で設立した滞納整理機構が、納税する資力はあるのに納税しない滞納者専門に対応することになっています。その結果、これまでまったく反応がなかった滞納者のうち、約8割の人たちがなんらかの形で応答しています。

12月には不動産の公売が2件予定され、ぜひ売却が決まればいいと思っています。一生懸命納税している市民と公平を保つためには、このような対応も仕方ありません。自治区ごとの納付率では、胆沢区が最高ですが、納税組合組織にも頑張っていただけの手厚い対応をしていきたいと思っています。



11月16日の水沢会場で質問に答える相原市長(市役所講堂)